

## 2015 年度第 2 回「鳥居基金」助成実施報告 (TE-87)

氏名 (所属) : 潮田雅司 (産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門)

助成 : 国内研究集会

集会名 : 2015 年度火山性流体討論会

期間 : 2015 年 10 月 16 日~10 月 18 日

本文 :

火山性流体討論会は、火山ガスや熱水流体、地下水、マグマ、地殻流体などをターゲットに、観測、化学分析、地質、数値シミュレーションといった様々な専門の学生・研究者の方たちが比較的少人数で集まることで濃密な議論・交流をすることを目的とした討論会です。この討論会は、参加者全員が 2 泊 3 日で寝食を共にすることで学生・若手研究者と中堅研究者との親睦を深めます。また各参加者の発表時間を 45 分と長くとり、学生の参加者も交えて多角的かつ活発な議論が行うことで学生・若手研究者に対し研究の面白さ、魅力を肌で感じてもらい、将来有望な研究者を育成することを目指しています。

2015 年度の火山性流体討論会は、群馬県吾妻郡草津町の草津セミナーハウスで開催されました。北は北海道、西は大阪から多くの参加者が集いました。参加者は学生 9 名, PD を含む若手研究者 6 名, 中堅常勤職 3 名の計 18 名となりました。今年度の火山性流体討論会の特色として、学生発表奨励賞を新設しました。この賞は学生の発表のうち、議論が大いに盛り上がった(すなわち発表時間が最も長い)発表者に対し贈られるものです。質問は発表の途中でも受け付ける形式で、一人 45 分の持ち時間でしたが、受賞者の発表は、内容もさることながら様々な方による有益な議論が飛び交い、90 分という時間になりました。参加者の発表内容は、火山ガス観測に始まり、噴火現象のモデリング、火山岩の微細組織と地球化学、変成岩と流体包有物、火山地質、沈み込み帯の対流シミュレーション、火山の熱水変質、地下水といった様々な内容で、夜間にポスターセッションを設けたこともあり専門分野の垣根を越えた議論が行われました。

今年度の火山性流体討論会は草津開催ということもあり、昨年に引き続き東京工業大学火山流体研究センターの方々にご協力頂きました。特に、寺田暁彦さんには巡検の案内をして頂きました。草津町の温泉関係の施設(温泉熱交換器や品木ダムなど)見学や、品木ダムほとりの太子火砕流露頭観察などを行いました。この場を借りてお礼を申し上げます。

今年の討論会は、昨年と同程度の参加者人数でしたが、例年通り学生の参加者が多かったように思います。鳥居基金による助成制度を利用し、学生の方を対象に参加費の援助を行うことができたことが学生の参加者が多かった大きな要因かと思えます。火山性流体討論会は濃密な議論・交流を学生・若手研究者と行うことを目的の一つとしており、その目的達成のために鳥居基金による援助の役割はとても大きいと感じています。今年度の火山性流体討論会も盛況の内に終わることが出来ましたことを、ここに深く感謝いたします。誠にありがとうございました。

(提出日 : 2015 年 11 月 9 日)